

富山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会概要
(第20回子ども・子育て会議)

1 開 会 (13時30分から)

(定員数：委員の過半数が出席すること。石動委員、館川委員、富田委員、西館委員、藤井委員、八木委員、山村委員、和田委員 各委員欠席)

2 こども家庭部長挨拶

3 議 事

(1) 専門分科会長及び専門分科会副会長の選出について

- ・委員互選により宮田委員を会長に選出 (各委員の拍手により承認)
- ・宮田会長が副会長に西館委員を指名

(2) 幼保連携型認定こども園等の認可申請及び利用定員について

- ・令和3年度認定こども園認可申請施設等について、資料2に基づき内容を説明
- ・事務局の方針どおり進めることで決定

【主な意見等】

- 委 員 私立富山市清水町幼稚園はどのような理由で休園となったのか。
- 事 務 局 主に職員が配置できないためと聞いている。
- 委 員 移行や新設をする施設について、遅れている等の懸念はあるか。
- 事 務 局 特にない。
- 委 員 家庭で保育をしている人もいるだろうが、現在保育を必要とする子どもの状況はどうか。
- 事 務 局 未就学児童数は年々減少しているが、保育施設等の利用率は年々上昇している。利用定員数は全体では足りているが、地域ごとの需要を勘案しながら整備していく必要があると考えている。

(3) 子ども・子育て支援事業の実施状況等について

・「富山市子ども・子育て支援事業計画」に定める子ども・子育て支援事業の実施状況等について、資料3に基づき内容を説明

【主な意見等】

- 委員 保育施設の障害児の数などは把握しているか。
- 事務局 大体300人前後で推移している。
- 委員 発達障害は3%程度いると考えているが、3～4歳児では認定されていない児童も多い。傾向としては増加してきていると考えている。
- 委員 医療的ケア児も増えてきている。障害児保育の一つとして捉えて保育所での受け入れ希望も多くなってきている。
- 委員 小学校の特別支援学級についても以前より増加してきている。早期発見・早期対応が大事だと考え教職員の研修も進めている。
- 委員 障害児への対策として、社会福祉法人が実施する場合と学校法人が実施する場合で補助率が違う。同じ形態の施設を運営しているので対応して欲しい。
- 事務局 新制度が始まり6年目となるが、まだまだ改善が必要だと考えている。国にも要望して参りたい。
- 委員 障害児については、保護者の意識が変わってきており、専門の機関に受診するケースが増えてきている。いいことではあるが、結果認定者は増えていくのでしっかりと対応して欲しい。
- 委員 富山市は子育て支援施策が非常に充実していると思う。しかし、サービスを受ける側が知らないことでサービスを受けていないケースがある。素晴らしい施策があるので広く市民に周知するためのツールが必要なのではないか。
- 委員 子どもの年齢が上がっていくと子育て支援施策を知る機会が減っていく。中学校などから連絡をもらっても子どもが保護者に見せないケースも多々ある。
- 事務局 現在、富山市では子育て支援施策を広く市民に周知するため、子育て支援ウェブサイトとアプリを一体的に整備している。今年度に整備する予定なので積極的に活用してもらいたい。

(14時30分終了)